経営比較分析表（令和5年度決算）

東京都　あきる野市

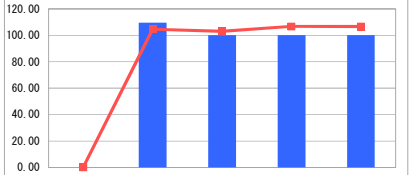
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	48.27	94.87	87.91	2,013

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
79,513	73.47	1,082.25
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
75,369	13.68	5,509.43

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

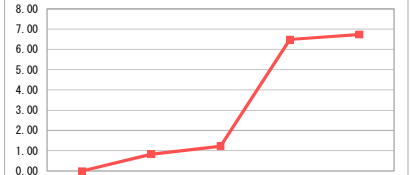
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.91】



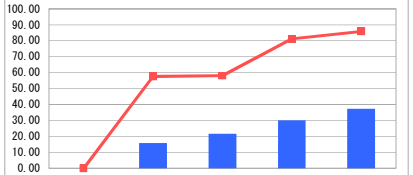
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	109.69	100.08	100.15	100.11
平均値	-	104.59	102.96	106.74	106.65

②累積欠損金比率(%)　【3.03】



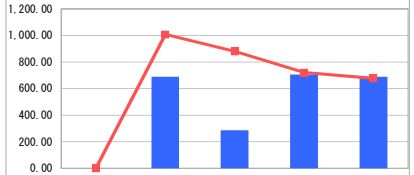
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	0.83	1.22	6.49	6.74

③流動比率(%)　【78.43】



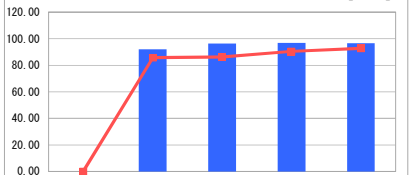
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	15.82	21.52	30.06	37.33
平均値	-	57.60	58.15	81.19	85.86

④企業債残高対事業規模比率(%)　【630.82】



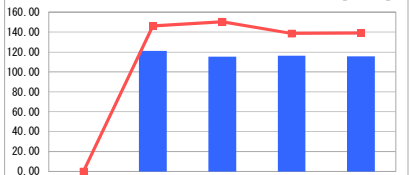
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	690.10	287.71	706.52	689.41
平均値	-	1,008.36	880.28	720.89	676.93

⑤経費回収率(%)　【97.81】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	91.97	96.51	96.82	96.59
平均値	-	85.67	86.23	90.50	92.66

⑥汚水処理原価(円)　【138.75】

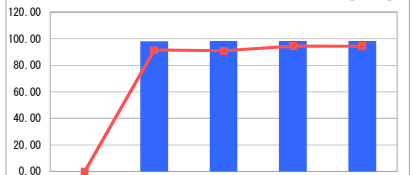


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	121.18	115.43	116.23	115.73
平均値	-	146.12	150.44	138.67	139.12

⑦施設利用率(%)　【58.94】

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	-	-	-	-
平均値	-	56.39	55.67	59.90	60.13

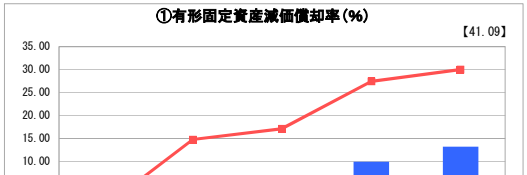
⑧水洗化率(%)　【95.91】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	98.08	98.38	98.37	98.41
平均値	-	91.45	91.00	94.46	94.37

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【41.09】

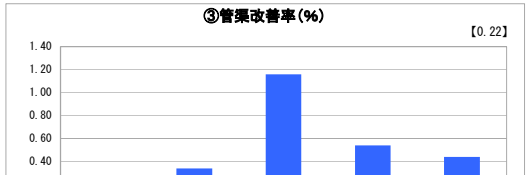


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	3.47	6.73	9.96	13.18
平均値	-	14.80	17.15	27.42	30.01

②管渠老朽化率(%)　【8.68】

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	0.10	0.14	2.67	3.43

③管渠改善率(%)　【0.22】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.34	1.16	0.54	0.44
平均値	-	0.09	0.25	0.14	0.06

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

あきる野市では平成4年に供用を開始、平成13年度に市街化区域の整備がほぼ完了し、平成14年度からは引き続き市街化調整区域の整備を行っています。
①経常収支比率について、当市では一般会計から多額の補助金・出資金を受け入れていることから、経常収支比率が100%になるよう他会計補助金の受け入れを調整しています。そのため②累積欠損金比率も0%となっています。
③流動比率は37.33%と低い値となっていますが、大規模な工事を行っておらず、企業債の償還額が借入額を上回っているため、徐々に改善する見込みです。
④企業債残高対事業規模比率については、使用料収入が減少したものの、企業債残高がそれを上回る減少となったため、前年度より減少しています。
⑤経費回収率は、使用料収入で汚水処理原価を賄えていない状況が続いているため、100%を下回る状況が続いています。また、全国平均と比較して低い数値となっています。今後も人口減少による使用料収入の減少、物価高騰等の課題があるため、収入の増加や経費の削減に取り組む必要があります。
⑥汚水処理原価は、流域関連公共下水道事業として、汚水処理施設を持たずに効率的な運営ができていることから、全国平均と比較して低い数値になっています。そのため⑦施設利用率についても0%となっています。
⑧水洗化率は全国平均より高いため、引き続き収入確保と水質保全のため水洗化率の向上に取り組みます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、新設の管が多いことから全国平均と比較して低い数値となっていますが、平成4年の供用開始前後に大規模な面整備をしたことにより、今後急激に上昇していくことが見込まれます。
②管渠老朽化率は、昭和60年度から管渠の敷設を開始したため、当面の間は0%での推移が見込まれます。
③管渠改善率は、新設の管渠が比較的多いため、低い数値となっています。今後は老朽化に伴う改築等を行う必要があるため、徐々に増加する見込みです。

全体総括

あきる野市の公共下水道は、未だ整備段階であり、計画的な事業の進捗を図るため、市全体の整備計画の見直しを進めています。また、今後は下水道施設の老朽化に伴う維持管理にも多額の費用が見込まれるため、計画的な維持管理を行っていく必要があります。経費の削減や収入の増加について検討し、将来にわたって安定的に事業を継続できるよう努めてまいります。